



平成26年9月1日現在	
世帯数	2,797世帯
男	3,443人
女	3,586人
総人口	7,029人

リサイクル工場で 社会貢献

リサイクル工場(株)ハートフル松本FVPが今年四月一日より小柴で稼働を始めました。

都内にある親会社の(株)FVPの社名はF(福祉)V(ベンチャー)P(パートナーズ)を意味しており、主に障がい者雇用支援等の事業展開を行っています。



この工場では、現在9名の知的障がい者と彼らをサポートする4名の健常者スタッフが働いています。

県内各地のスーパー等で回収された使用済食品トレイやペットボトルがこの工場に集められ、ここで減容(圧縮)された物を岐阜県大垣市にある再生工場へと運び、食品トレイやペットボトルの原料に再生されます。

トレイの原料へ再生するためには白色トレイと着色物を確実に分別する必要があります、それをこの工場で行っています。

コンベアー上を多種混在して流れるトレイの山から汚れ状態を見極めて仕分け作業はかなりの集中力が必要で、知的障がい者の皆さんは作業を覚えるまでに時間は掛かるものの、一旦覚えた作業は正確に根気よくこなしています。

この職場で会社勤めの経験を積み、将来は一般企業に移って仕事ができるようになる事が最終目的であると責任者の矢内さんは語っていました。

一日の作業が終わると、皆が作業実績ボードの前に集まり、今日の出来高が目標値に達成していることに満足気な微笑を浮かべていました。



バウムクーヘン 作りました!



6月22日、第40回子ども会講習会が開かれました。今年「寿さと山くらぶ」の方の指導で、約50名の子どもたちが屋外でのバウムクー

ヘン作りに取り組みました。まず生地を作り、それを竹の棒に塗って2人1組で棒の両端を持ち、炭火の上を転がして焼いていくという作業を何十回も繰り返します。

当日は雨が降ってしまい、テントの下での作業となったため、テントにこもる熱や煙に苦勞しながらも、徐々に大きくなっていくバウムクーヘンに期待がふくらみました。そして最後に竹から取り外し、みんなでおいしくいただきました。

この活動では大人から教わった事を別の人に教えたり、友達と息を合わせて行うチームワークの大切さ、自分も周りの人にもやけどをさせない気配りなどを学ぶ事が出来ました。



戸隠講荒井講中祭典

荒井地区の農家を中心に30名で構成する戸隠参拝講『荒井講中』は、8月24日祭典を行いました。

前年の祭典直会なまわらひで、姉妹へあね・いもうと」と呼ばれるクジ引きにより選ばれた5名の代参人と講世話人は、先立つ10日、戸隠神社参拝を行いました(これを代参講といいますが)。五社で構成される神社のうち宝光社聚長による祈禱を受け、祠に納めるものと構成人数分のお札を頂いてきました。

祭典は、毎年8月下旬に行います。昨年は一巡の初回代参につき聚長を迎え、信濃荒井駅西方の祠で祈禱を行いました。今年も代参人が神事を執り行い、五穀豊穰・家内安全・交通安全・商売繁盛等を祈禱、その後公民館で直会なまわらひを行いました。



※平成25年のもの

島立地区の文化財の調査が進んでいます。



松本市では、文化庁の補助事業として推進する、地域に存在する文化財を指定・未指定に関わらず把握し、その周辺環境まで含めて総合的に保存をしてゆく計画のための調査が進んでいます。

この計画は、地域の大切な文化資産を核とした「かけがえのない松本らしさ」を活かしたまちづくりを進めていくことを目的としています。

島立地区では、6月に町会単位で調査委員会が立ち上げられ、文化財調査が行われています。

過去に実施された主な文化

財の調査として、市教育委員会による「島立の歴史文化財地図」、「島立の石造文化財」、「未指定文化財総合調査」、島立地区による「子供の一年」、「島立の一年」、「生活の一年」などがありますが、今回は、それらの結果の確認も含めた調査を行っています。

今後の予定として、各町会の委員が選定した、「地区が守り、語り継いでいきたいもの」を、文化財課の職員と一緒に現地調査を行うこととなります。

より多くの方が調査に関わり、「地域のたから」を再認識されることを願います。

各地区のラジオ体操



小学生の頃、夏休みに朝のラジオ体操をした事を、思い出します。

今も、夏休みになると、子ども達が、朝少し眠そうな顔をしながら、集合場所に集まり、流れてくるラジオ体操の曲に合わせて、身体を動かしていました。

子どもの人数は、少なくなりましたが、これからも続けていつて欲しい事の一つです。



小柴



永田



堀米



三の宮



町区



大庭

早朝ウォーキング

「松本市健康ウォーキング」に基づき、三の宮町会では、8月3日朝6時から今年度3回目の早朝ウォーキングが行われました。

コースは、島立地区ウォーキングマップ南コース5.1kmで、参加者10人強と少人数ですが(3回トータルで40人強)、張り切って出発しました。

朝日に輝く大豆畑、千水田の稲、里芋畑にホースで水を流している風景等、農家の頑張っている姿を垣間見ながら、健康寿命が伸びている今日、運動の必要性やバランスのとれた食事の大切さ等話しながら、約1時間半でコースを歩き終えました。

歩数にして九千歩前後で、程良い汗と充実感に浸る事が出来たようです。

体力があまりない人でも、早朝は無理なくウォーク出来ることから、参加者からは春と秋も行つて欲しいという要望がありました。

